

4章 計画目標

基本理念の実現に向けて、取り組みの成果をわかりやすく把握していくための目安として、計画の数値目標を次のとおり掲げます。

将来人口フレーム

■ 将来人口の推計

全国的な傾向と同様に人口減少が進行するなか、焼津市総合戦略では必要な施策に取り組むことで、2060年の総人口の目標を120,000人としています。

その実現に向けて、本計画においても、誰もが住みやすいまちとなるよう施策を展開していくため、計画の前提条件として、目標年次の2037年とその中間目標の2027年の想定人口は、焼津市総合戦略（焼津市人口ビジョン）を踏まえて次のとおりとします。

	現況（2017）	中間（2027）	目標（2037）
市街化区域人口	88,080人	85,900人	82,100人
都市計画区域人口	140,189人	137,000人	130,900人

※人口ビジョンの目標人口は、5年毎の推計値であるため、目標年がその間にある場合は推計結果を按分して目標年の人口を求めた。

数値目標

■ 市民の満足度

緑地の確保や整備、緑化の推進により、市民の公園や花緑への満足度を高め、住んで良かったと思えるまちづくりを進めていきます。

	現況（2017）	中間（2027）	目標（2037）
市内の公園に満足している市民の割合	39.9%	45.0%	50.0%
身近に花や緑が多いと思う市民の割合	63.6%	70.0%	75.0%

※現況は焼津市総合計画（基本計画）に関する市民意識調査結果報告書（平成30年3月）による。

※目標値は、公園面積増加率と市民意識向上率を基に設定



■保全すべき緑地の目標水準

現在ある緑地の保全に努めるとともに、新たに緑地を創出していくことで、緑豊かな都市環境の維持向上を図ります。

	現況（2017）	中間（2027）	目標（2037）
市域における緑地の割合	41.4%	現状維持	現状維持

※現況及び目標の数値は資料編の緑地の現況総括表及び、緑地整備目標総括表による。

■都市公園の施設として整備すべき緑地の目標水準

都市公園の整備促進により、身近に緑とオープンスペースのある生活環境を整えていきます。

	現況（2017）	中間（2027）	目標（2037）
市民一人当たりの都市公園面積	5.3 m ²	7.1 m²	8.0 m²
市街化区域内の市民一人当たりの都市公園面積	3.4 m ²	3.9 m²	4.1 m²

※現況及び目標の数値は緑地整備総括表による。

※少数第2位四捨五入

■生け垣づくり補助制度による植樹本数の目標水準

豊かな住宅地の創出のため、生け垣づくり補助制度の活用促進を図ります。

	現況（2017）	中間（2027）	目標（2037）
生け垣奨励植樹本数	56,551	59,000	61,500

※現況は、平成 29 年度末時点の実績値。（20 年間で 5,000 本の増加を目指し、目標を設定）

■協働の緑化活動の目標水準

市民や事業者との協働により、身近な公共空間の緑化に取り組むとともに、活動を通じて地域のコミュニティを育みます。

	現況（2017）	中間（2027）	目標（2037）
緑化に関わるボランティア団体数	214	219	224

※現況は、平成 29 年度末時点でグリーンバンクの支援を受けて活動している団体（129）、緑化資材支給申込団体（14）、リバーフレンドシップ団体（71）の合計。（10 年間で 5 団体の増加を目指し、目標値を設定）